トステム株式会社　**ルーフポートシグマⅢ／ルーフポートシグマⅢ1500**

取付説明書　－ 基本・縦連棟 －

●このたびは、トステム製品をお買いあげいただきましてまことにありがとうございます。
●施工は必ず専門の工事業者の方が行なってください。
●この取付説明書に示した表示記号の内容は、製品を安全に正しく施工していただき、施主様等の危害や損害を未然に防止するためのものです。
表示記号の内容を良く理解したうえで、本書の内容（指示）にしたがってください。
●この取付説明書では、次のような記号を使用しています。

安全に関する記号	記号の意味
	●取付けを誤った場合に、使用者などが中・軽傷を負うおそれのある内容、または物的損害のおそれがある内容を示しています。

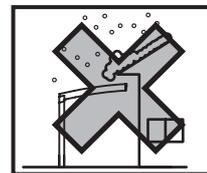
一般情報に関する記号	
ポイント	●取付手順で、特に注意して作業をしていただきたいことを示しています。 ●守っていただかないと組付けができない内容、または製品全体に後々不具合が発生するおそれのある内容を示しています。
※	●取付説明の内容全体（個々の説明枠）にかかる注意事項を示しています。 ●取付説明の内容に制限がある場合の条件を示しています。
補 足	●説明の内容で知っておくと便利なことを示しています。

注 意

●製品破損、倒壊による人への危害・物的損害が想定されますので、下記事項をお守りください。

＜施工の前に＞

・当製品は簡易型車庫です。物置・遊び場あるいは住居の一部等への転用を目的として、みだりに改造・変更をしないでください。
・ルーフポートシグマⅢは積雪（新雪）20cmを超えない地域に設置してください。ルーフポートシグマⅢ1500（積雪地域用1500タイプ）は積雪（新雪）50cmを超えない地域に設置してください。
・建物の屋根から落雪を直接受けない位置に設置してください。
・強風地域、特に崖上、屋上、風の通り道上等の施工は避けてください。
・施工場所に寸法的に正しく納まるかどうか確認してください。
・給湯器や暖房機等の熱排気が製品に当たらないように施工してください。
排気による塗装劣化・剥離（はくり）のおそれがあります。

・給湯器や暖房機等の熱排気が製品内にこもるような場所に施工しないでください。排気による中毒のおそれがあります。
・傾斜地に設置する場合は、低い場所の埋込み深さを確保してください。
・後枠（落雪用）をご使用の際は、雪が落ちやすい構造のため、隣地から最低50cm程度離して施工してください。また、施工する敷地の条件によってはさらに離して施工してください。

⚠ 注 意

<基礎工事について>

・基礎部の埋込み深さは製品ごとに決めていますが、現場によって（軟弱な地盤等）基礎部のコンクリートの量（体積）を十分配慮してください。
・寒冷地で凍上するおそれのある地域で使用する場合は、凍上線の下まで基礎を設けてください。
・モルタルやコンクリートには、塩分を含む砂（海砂）および塩素系強アルカリのコンクリート用混和剤（凍結防止剤、凝固促進剤、急結剤等）は使用しないでください。使用するとアルミ等の金属が腐食する原因になります。必要な場合は非塩素系や非アルカリ系の混和剤をご使用ください。
・柱内の水抜きができるよう、基礎には必ずぐり石を敷き、柱と基礎の付け根に水抜き穴（φ6）をあけてください。
柱内の水が凍結膨張し、柱が破損するおそれがあります。
・モルタルやコンクリート等が製品の表面に付着した場合は、速やかに拭取ってください。シミやムラ等の外観不良の原因になります。

<施工の際に>

・柱の移動は当社指定範囲内にしてください。
・「使用上の注意」ラベルを貼っている柱に竪樋を取付けると、表示が見えなくなります。竪樋を取付けない側に表示ラベルを向けてください。
・ボルト、ネジは当社指定品を指定本数使用し、ゆるまないように締付け固定してください。
・アルミ製品が亜鉛、ステンレス以外の金属と接触する場合は、絶縁処理をしてください。
・製品の改造や、指定箇所以外の穴加工はしないでください。
・製品についた汚れは取除き、誤ってキズをつけた場合は、補修塗料で補修してください。
・水濡れのおそれがありますので、指定の箇所にシーリングをしてください。
・シリコーンシーリング材を使用する場合は、ポリカーボネート板のひび割れ等のおそれがありますので、当社指定の脱アルコール系シーリング材を使用してください。

シーリング材メーカー	品名および品番
信越化学工業	シーラント72
東芝シリコーン	トスシール380
トーレシリコーン	SE960

・アーチを後枠に取付ける際は指定のネジを使用してください。耐風圧性能が低下し、製品の破損により思わぬケガをするおそれがあります。

<施工の後に>

□ボルト、ネジを増し締めしてください。
□取扱説明書は施主様にお渡しください。

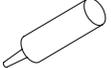
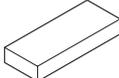
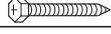
INDEX

MAL-913_200804A

1　梱包明細表　※施工の前に梱包明細表で必要な部材、部品が揃っているか確認してください。

【1】部品セット

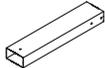
名　称	略　図	員　数								
		600タイプ			1500タイプ			1500タイプオプション		
		50型	57型	14型	50型	56型	12型	50型	56型	12型
前枠コーナーキャップR		1	1	−	1	1	−	1	1	−
前枠コーナーキャップL		1	1	−	1	1	−	1	1	−
後枠コーナーキャップR		1	1	−	−	−	−	−	−	−
後枠コーナーキャップL		1	1	−	−	−	−	−	−	−
後枠コーナーキャップR（積雪用）		−	−	−	1	1	−	−	−	−
後枠コーナーキャップL（積雪用）		−	−	−	1	1	−	−	−	−
後枠コーナーキャップR（落雪用）		−	−	−	−	−	−	1	1	−
後枠コーナーキャップL（落雪用）		−	−	−	−	−	−	1	1	−
ブラケットカバーR		2	2	1	3	3	1	3	3	1
ブラケットカバーL		2	2	1	3	3	1	3	3	1
梁キャップ		2	2	1	3	3	1	3	3	1
アーチカバーキャップ		−	−	−	−	−	−	9	10	−
梁取付け補強板		2	2	1	3	3	1	3	3	1
梁取付け裏板		2	2	1	3	3	1	3	3	1
前枠引掛け金具		2	2	−	2	2	−	2	2	−
アンカー棒		2	2	1	3	3	1	3	3	1

名　称	略　図	員　数								
		600タイプ			1500タイプ			1500タイプオプション		
		50型	57型	14型	50型	56型	12型	50型	56型	12型
ブチルシーリング材		1	1	1	1	1	1	1	1	1
穴隠しシール		26 (30)	26 (30)	13 (15)	39 (46)	39 (46)	13 (15)	39 (46)	39 (46)	13 (15)
雨樋アタッチメント		1	1	1	1	1	1	1	1	1
雨樋穴ふさぎキャップ		1	1	1	1	1	1	1	1	1
アタッチメントパッキン		2	2	2	2	2	2	2	2	2
ドレンエルボ　φ40用		1	1	1	1	1	1	1	1	1
92°エルボ　φ40用		2	2	2	2	2	2	2	2	2
でんでん		3	3	3	3	3	3	3	3	3
接着剤		1	1	1	1	1	1	1	1	1
パネル補強材		32 (40)	32 (40)	8 (16)	32 (40)	40 (48)	8 (16)	32 (40)	40 (48)	8 (16)
屋根材ホルダースペーサー		– (16)	– (18)	– (4)	–	–	–	–	–	–
【1-1】M8×25六角ボルト(SW+PW)		14	14	7	21	21	7	21	21	7
【1-2】φ5×55サラタッピンネジ		2	2	1	3	3	1	3	3	1
【1-3】φ5×14トラスネジ		4	4	2	6	6	2	6	6	2
【1-4】φ4×10ワッシャーヘッドネジ		166 (210)	183 (232)	50 (63)	191 (242)	208 (264)	50 (63)	191 (242)	208 (264)	50 (63)
【1-5】φ4×13ナベドリルネジ		49 (58)	54 (64)	14 (16)	54 (64)	61 (71)	14 (16)	54 (64)	61 (71)	14 (16)
【1-6】φ4×13ナベドリルネジ(色付き)		–	–	–	–	–	–	9	10	–
【1-7】φ5×13ナベドリルネジ		7 (25)	8 (28)	2 (6)	8	9	2	8	9	2
【1-8】φ6×70六角タッピンネジ		12	14	4	12	14	4	12	14	4
【1-9】M6平座金		12	14	4	12	14	4	12	14	4
【1-10】φ4×50トラスネジ		2	2	–	2	2	–	2	2	–
【1-11】φ6×35六角ボルト		4	4	2	6	6	2	6	6	2
取付説明書	—	1	1	–	1	1	–	1	1	–

※(　)内は間口35・39型です。

MAL-913_200804A

■梱包明細表（つづき）

【2】主柱セット

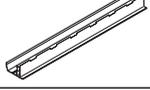
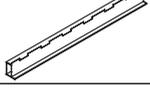
名　称	略　図	員　数								
		600タイプ				1500タイプ				
		H18 2本入	H18 1本入	H23 2本入	H23 1本入	H18 3本入	H18 1本入	H23 3本入	H23 1本入	凍上H23 1本入
標準柱 H18		2	1	―	―	3	1	―	―	―
ロング柱 H23		―	―	2	1	―	―	3	1	―
凍上ロング柱 H23		―	―	―	―	―	―	―	―	1
取扱説明書	―	1	―	1	―	1	―	1	―	1

【3】竪樋セット

名　称	略　図	員　数	
		L3100	L1000
竪樋 L=3100　φ40		1	―
竪樋 L=1000　φ40		―	1

【4】ブラケットセット

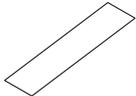
名　称	略　図	員　数	
		2本入り	1本入り
ブラケット		2	1

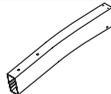
【5】長さセット

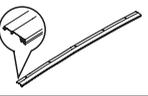
名　称	略　図	員　数								
		600タイプ			1500タイプ			1500タイプオプション		
		50型	57型	14型	50型	56型	12型	50型	56型	12型
前枠		1	1	1	1	1	1	1	1	1
後枠		1	1	1	―	―	―	―	―	―
後枠（積雪用）		―	―	―	1	1	1	―	―	―
後枠（落雪用）		―	―	―	―	―	―	1	1	1
母屋		4（5）	4（5）	4（5）	4（5）	4（5）	4（5）	4（5）	4（5）	4（5）
竪樋　φ40		1	1	―	1	1	―	1	1	―
屋根材ホルダー		―（7）	―（8）	―（2）	―	―	―	―	―	―

※（　）内は間口35・39型です。

MAL-913_200804A

【6】屋根材セット

名　称	略　図	員　数		
		1枚入	3枚入	4枚入
屋根パネル		1	3	4

【7】梁セット

名　称	略　図	員　数			
		600タイプ		1500タイプ	
		2本入	1本入	3本入	1本入
梁		2	1	3	1

【8】幅セット

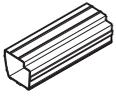
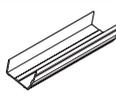
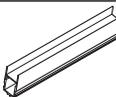
名　称	略　図	員　数			
		600タイプ		1500タイプ	
		50型	57型	50型	56型
側枠R		1	1	1	1
側枠L		1	1	1	1
側枠カバー		2	2	2	2

【8】幅セットつづき

名　称	略　図	員　数			
		600タイプ		1500タイプ	
		50型	57型	50型	56型
アーチ		6	7	7	8
アーチカバー		6	7	7	8

【9】連棟用幅セット

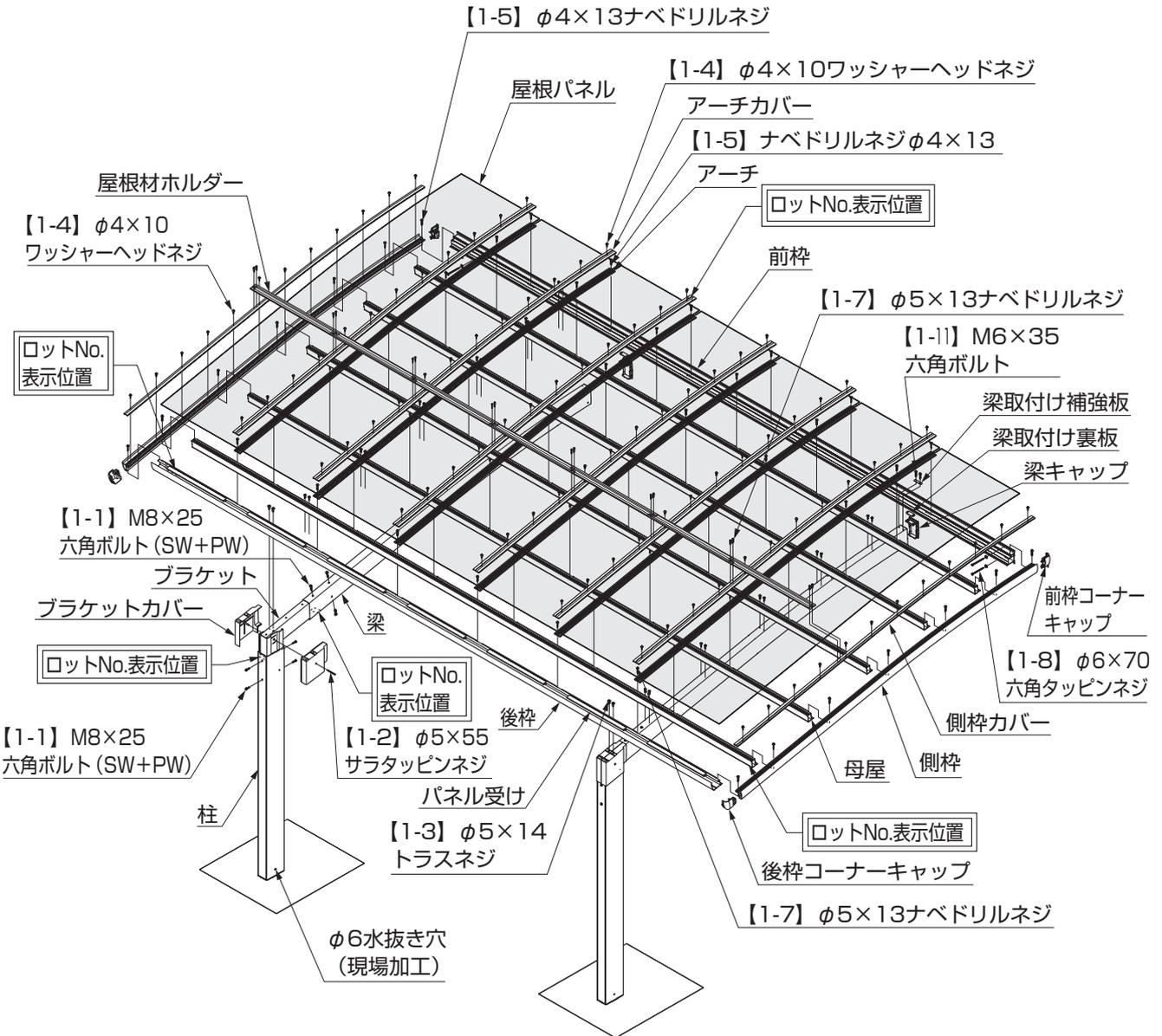
名　称	略　図	員　数					
		600タイプ			1500タイプ		
		50型	57型	14型	50型	56型	12型
アーチ		7	8	2	8	9	2
アーチカバー		7	8	2	8	9	2

【10】連棟用部材セット

名　称	略　図	員　数					
		600タイプ		1500タイプ		1500タイプオプション	
		30用	35・39用	30用	35・39用	30用	35・39用
前枠スリーブ		1	1	1	1	1	1
後枠スリーブ		1	1	–	–	–	–
後枠スリーブ（積雪用）		–	–	1	1	–	–
後枠スリーブ（落雪用）		–	–	–	–	1	1
母屋スリーブ		4	5	4	5	4	5
【10-1】φ4×13ナベドリルネジ		54	62	54	62	54	62

MAL-913_200804A

2　基本寸法と各部名称

1. 各部名称

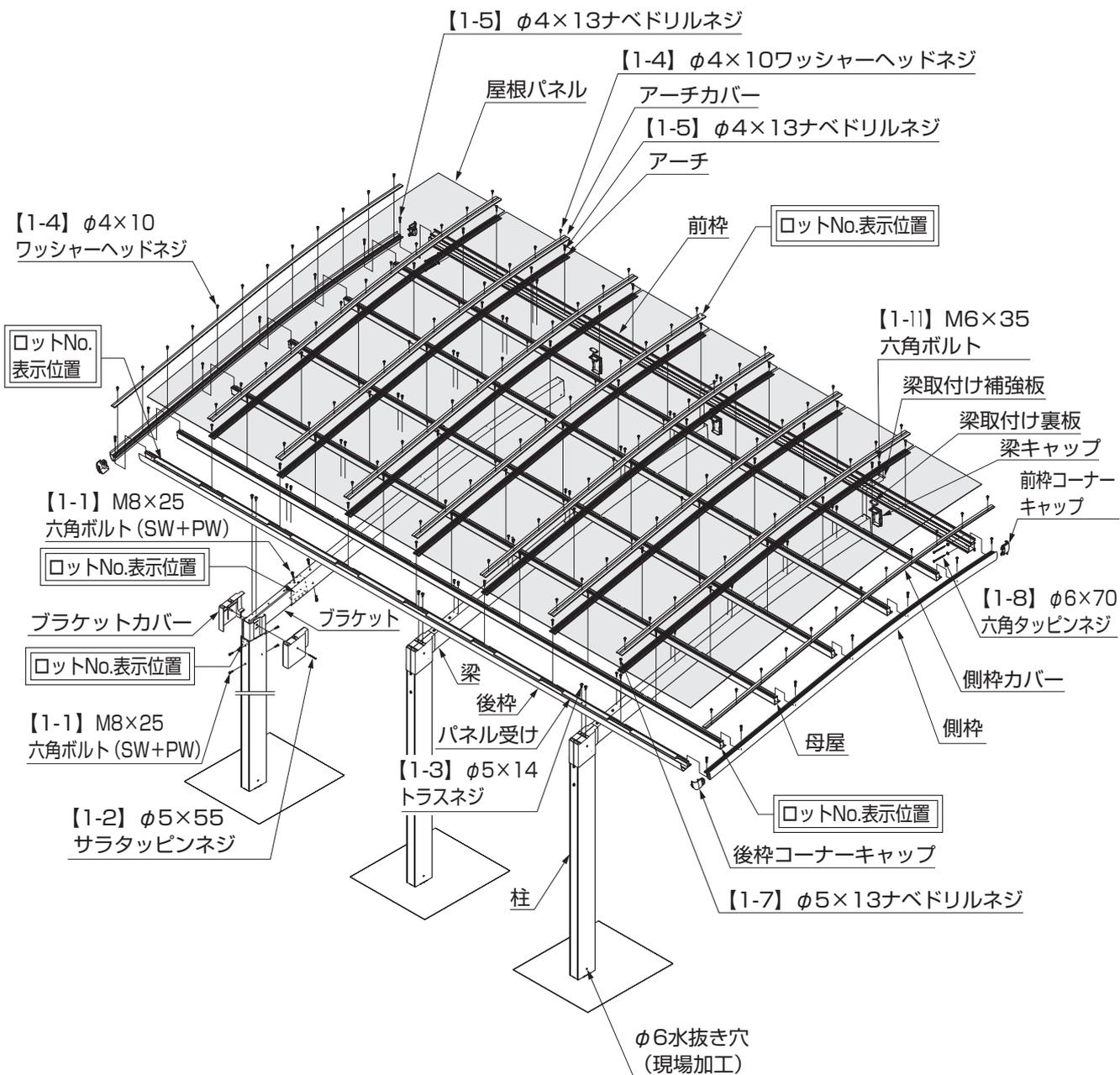
1-1　600タイプ

補 足

●30サイズには屋根材ホルダーが付きません。

MAL-913_200804A

1-2 1500タイプ

2
基本寸法と
各部名称

MAL-913_200804A

2. 基本寸法

※図は標準柱仕様を示します。(　)はロング柱H23仕様を示します。

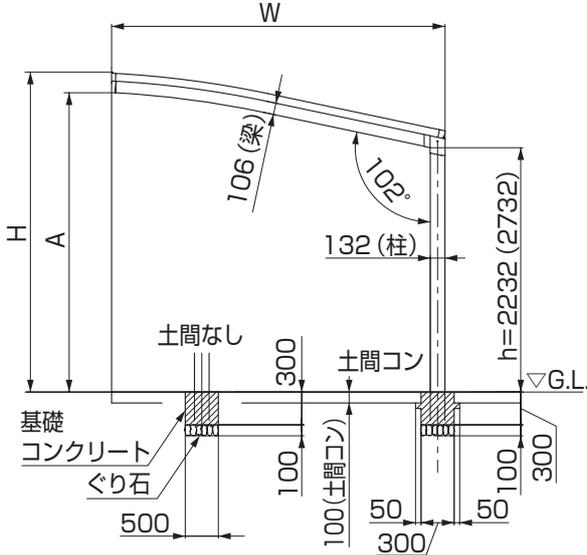
2-1 間口

(1) 600タイプ　　(2) 1500タイプ

表2-1　単位mm

間口	W	A	H
30	3023	2735 (3235)	2924 (3424)
35	3499	2836 (3336)	3025 (3525)
39	3899	2921 (3421)	3110 (3610)

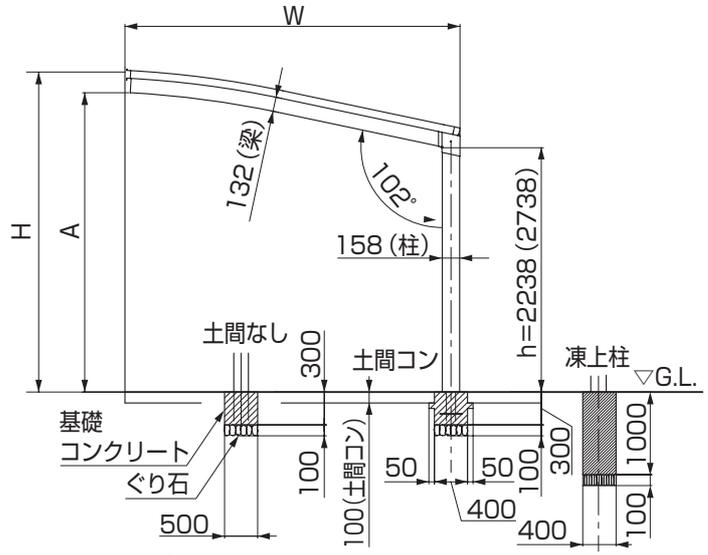



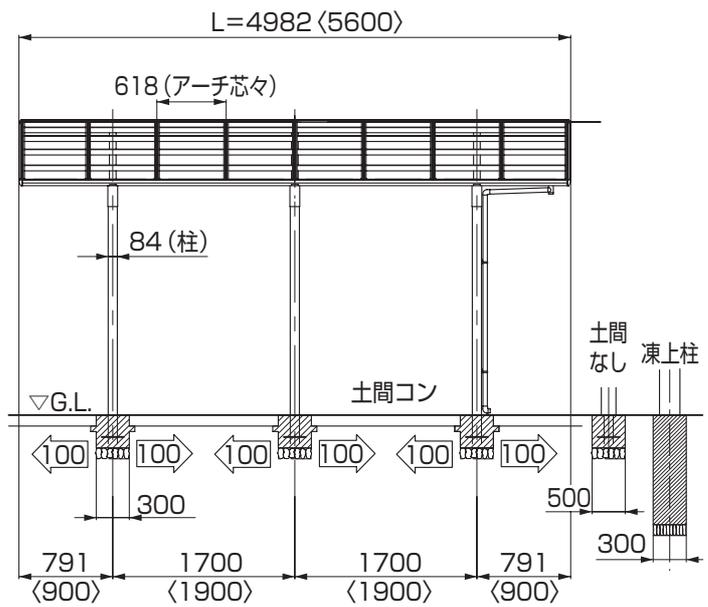
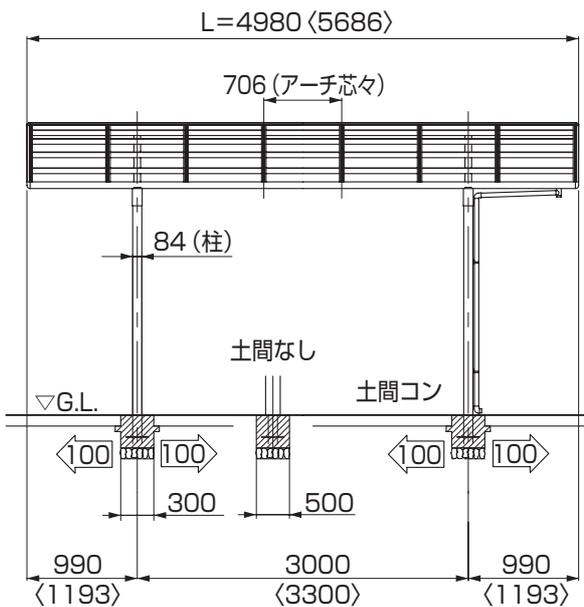
表2-2　単位mm

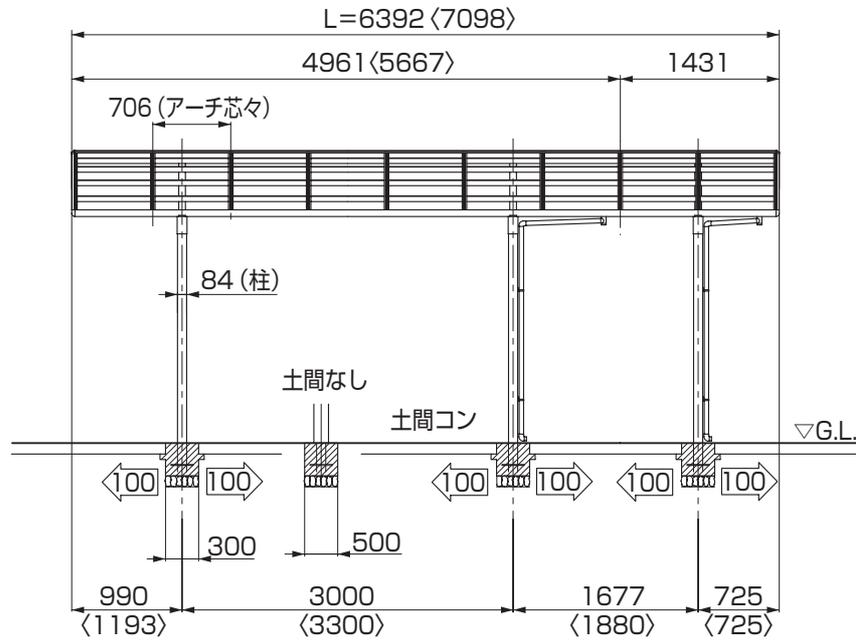
間口	W	A	H
30	3023	2735 (3235)	2950 (3450)
35	3499	2836 (3336)	3051 (3551)
39	3899	2921 (3421)	3136 (3636)

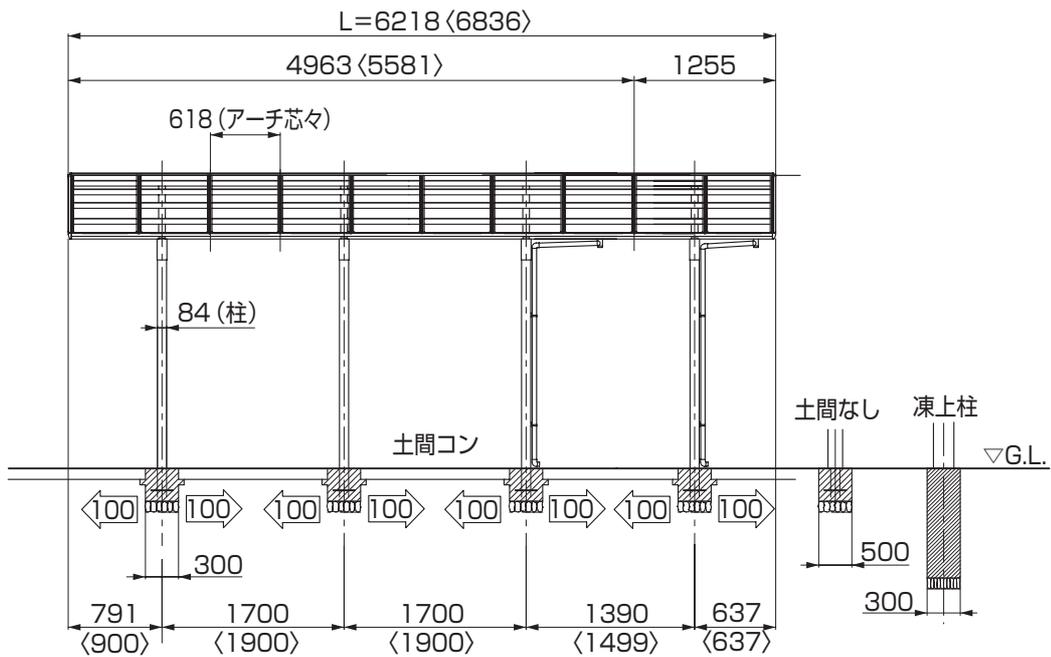
2-2 奥行き

※柱芯々寸法は±100mm以内にしてください。

(1) 600タイプ ※〈　〉は奥行き57型を示します。(2) 1500タイプ ※〈　〉は奥行き56型を示します。

MAL-913_200804A

2-3 奥行き14延長タイプ（600タイプ）

※柱芯々寸法は±100mm以内にしてください。
※〈　〉は奥行き57型を示します。

2-4 奥行き12延長タイプ（1500タイプ）

※柱芯々寸法は±100mm以内にしてください。
※〈　〉は奥行き56型を示します。

2.（つづき）

2-5 奥行き縦連棟タイプ　※柱芯々寸法は±100mm以内にしてください。

（1）600タイプ ※〈 〉は奥行き57型を示します。

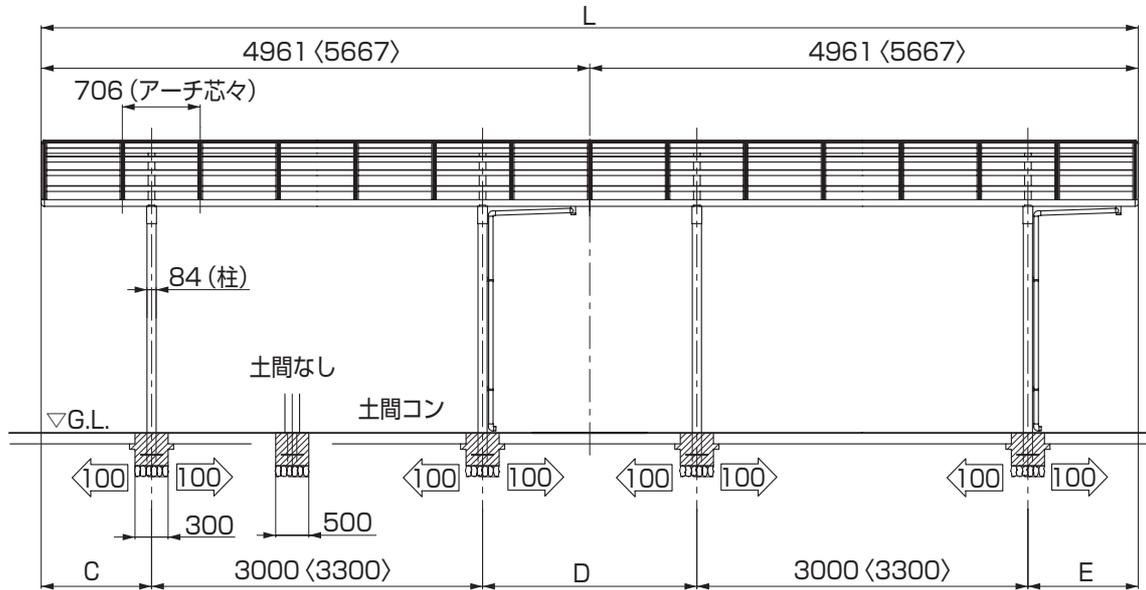



表2-3　単位mm

奥行き	L	C	D	E
50−50	9922	990	1942	990
50−57	10628		2145	1193
57−57	11334	1193	2348	

（2）1500タイプ ※〈 〉は奥行き56型を示します。

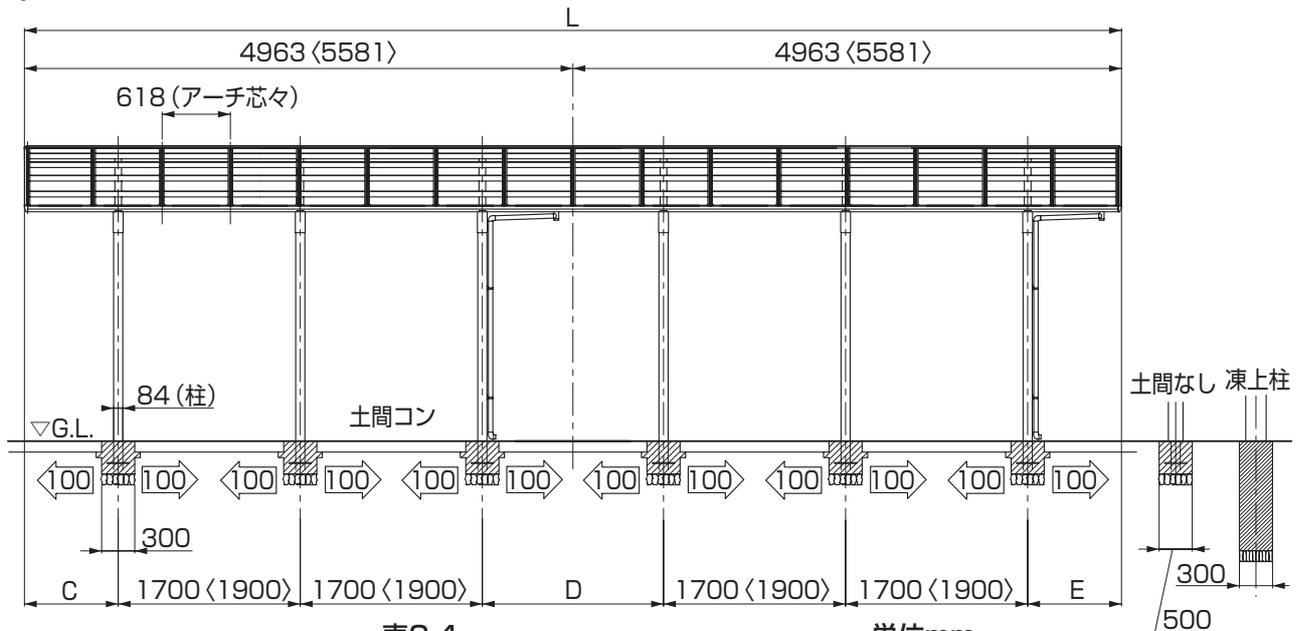



表2-4　単位mm

奥行き	L	C	D	E
50−50	9926	791	1544	791
50−56	10544		1653	900
56−56	11162	900	1762	

MAL-913_200804A

3　基本の施工方法

1. 基礎の施工

1-1　基礎位置の墨出し

（1）600タイプ ※〈　〉は奥行き57型を示します。

表1-1　単位mm

間口	W（屋根寸法）	土間なし			土間コンクリート		
		a	a1	d	a	a1	d
30	3023	500	250	500	300	150	300
35	3499						
39	3899						

①柱の埋込み位置を出して、基礎穴を掘ってください。

補 足

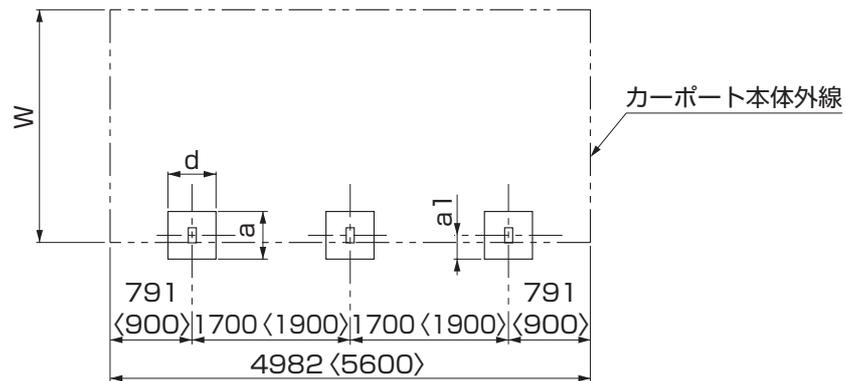
●柱の移動は±100mm以内ですが柱芯々寸法が±100mm以内になるようにしてください。

（2）1500タイプ ※〈　〉は奥行き56型を示します。

表1-2　単位mm

間口	W（屋根寸法）	土間なし			土間コンクリート			凍上柱		
		a	a1	d	a	a1	d	a	a1	d
30	3023	500	250	500	400	200	300	400	200	300
35	3499									
39	3899									

①柱の埋込み位置を出して、基礎穴を掘ってください。

補 足

●柱の移動は±100mm以内ですが柱芯々寸法が±100mm以内になるようにしてください。

1.（つづき）

1-2 基礎寸法 ※土間なし仕様、土間コンクリート仕様、凍上ロング仕様（1500タイプのみ）の場合

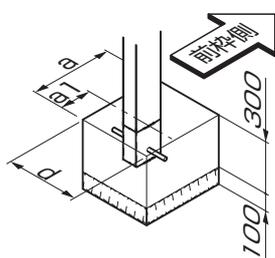



図1-1
土間なし仕様の場合

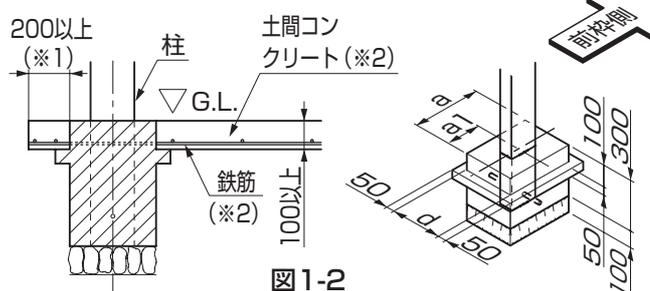



図1-2
土間コンクリート仕様の場合

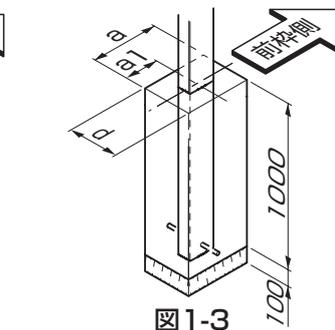



図1-3
凍上仕様の場合（1500タイプのみ）

表1-3　600タイプ　単位mm

土間なし基礎			土間コンクリート基礎		
a	a1	d	a	a1	d
500	250	500	300	150	300

表1-4　1500タイプ　単位mm

土間なし基礎			土間コンクリート基礎			凍上柱		
a	a1	d	a	a1	d	a	a1	d
500	250	500	400	200	300	400	200	300

ポイント

●基礎上面と土間コンクリートの縁端距離は200mm以上になるようにしてください。（※1）
●土間コンクリートには、鉄筋を敷設してください。（※2）

2. 前枠の取付け

図2-1

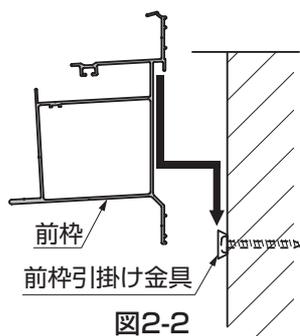
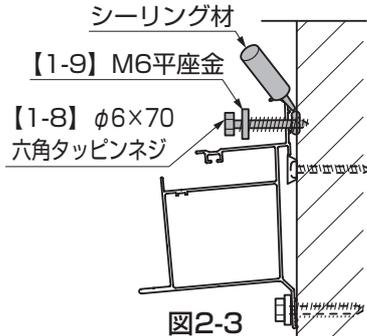
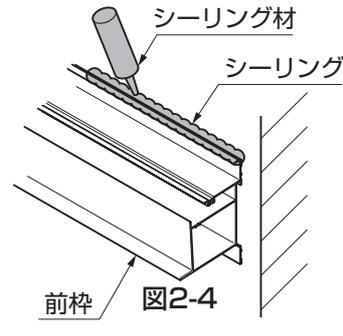



表2-1　単位mm

間口	H 600タイプ	H 1500タイプ
30	2892	2917
35	2993	3019
39	3078	3104

図2-2

図2-3

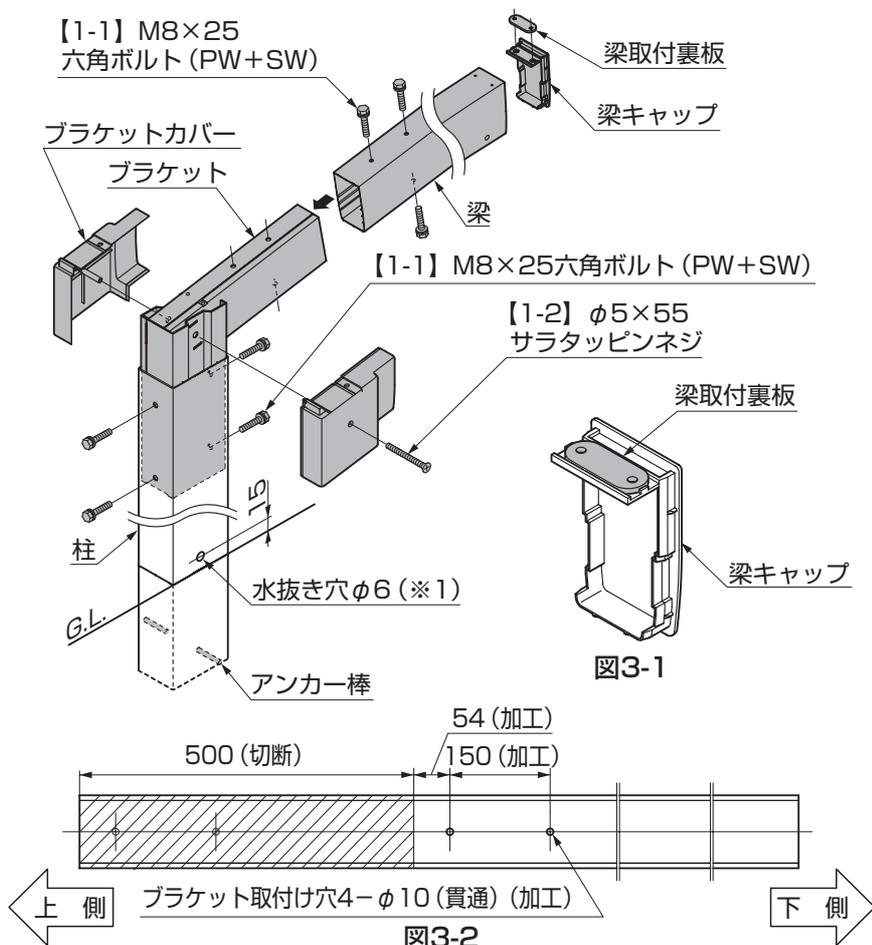
図2-4

①躯体の主柱、または間柱にφ3の下穴をあけ、シーリング材を充てんし、前枠引掛け金具を【1-10】で取付てください。（図2-1参照）
②前枠を前枠引掛け金具に引掛けてください。（図2-2参照）
③躯体にφ4.5の下穴をあけ、シーリング材を充てんし、前枠を【1-8】、【1-9】で取付てください。（図2-3参照）
④前枠上部にシーリング材を充てんしてください。（図2-4参照）

ポイント

●柱を移動した場合は、前枠を梁に合わせてφ4.5の穴加工を行ってください。
●既存の加工穴には穴隠しシールを貼ってください。

3. 柱と梁の取付け

図3-1

図3-2

①柱にアンカー棒を差込んでください。
②柱にブラケットを【1-1】で取付けてください。
③梁をブラケットに【1-1】で取付けてください。
④ブラケットカバーをブラケットに【1-2】で取付けてください。
⑤梁取付裏板を梁キャップに取付けてください。（図3-1参照）
⑥梁キャップを梁に取付けてください。

注 意

- 「使用上の注意」ラベルを貼っている柱に竪樋を取付けると、表示が見えなくなります。竪樋を取付けない側に表示ラベルを向けてください。
- 柱のG.L付近（地上側）にφ6水抜き穴をあけてください。柱内の水が凍結膨張し、柱が破損するおそれがあります。（※1）

補 足

- 1500タイプ凍上標準柱の場合は、凍上ロング柱を上から500mm切断し、ブラケット取付穴加工を施してください。（図3-2参照）

図3-3

⑦前枠の上に梁取付補強板をあて、梁に【1-11】で固定してください。（図3-3参照）

3
基本の施工方法

MAL-913_200804A

4. 母屋・後枠の取付け

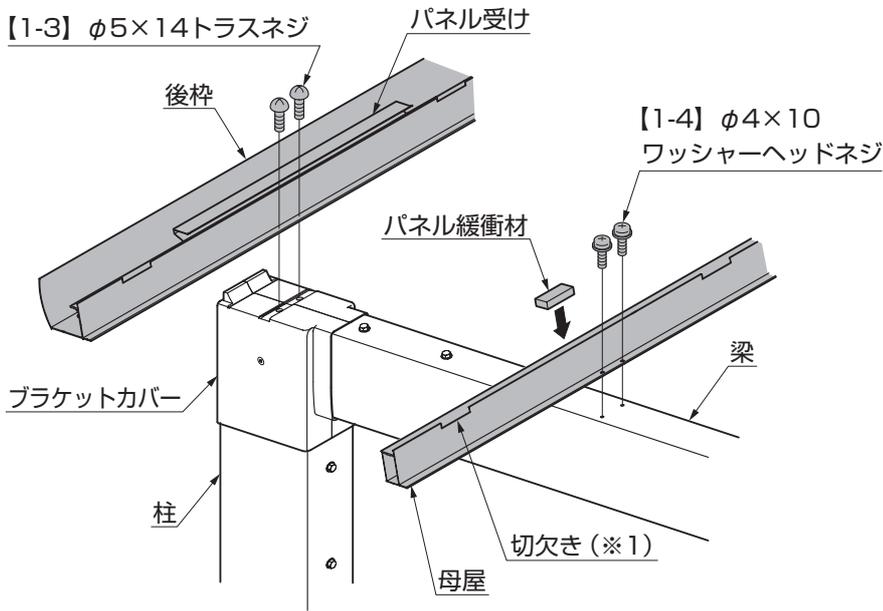



図4-1

①後枠をブラケットカバーに【1-3】で取付けてください。（図4-1参照）

ポイント

- パネル受けを後枠の切欠きと切欠きの間に均等になるように移動させてください。

②パネル緩衝材を母屋の切欠きと切欠き（※1）の間に貼付けてください。

③前枠側にフィン部を向けて、母屋を梁に【1-4】で取付けてください。（図4-1参照）

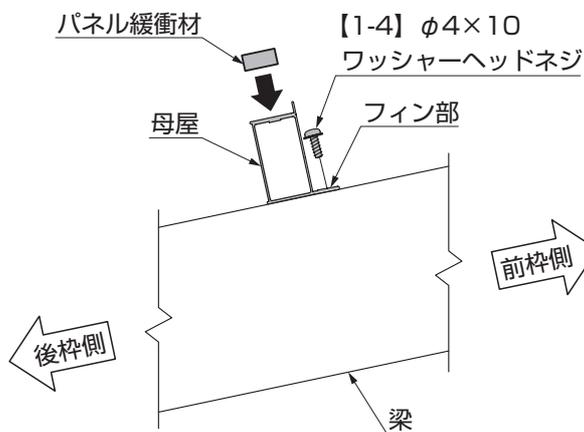
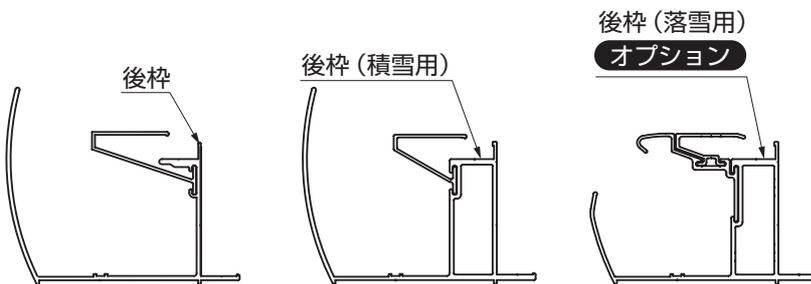



図4-2

ポイント

- 柱を移動した場合は、後枠・母屋を梁に合わせて後枠はφ5.5、母屋はφ4.5の穴加工を行なってください。
- 既存の加工穴には穴隠しシールを貼ってください。

5. 側枠・アーチの取付け

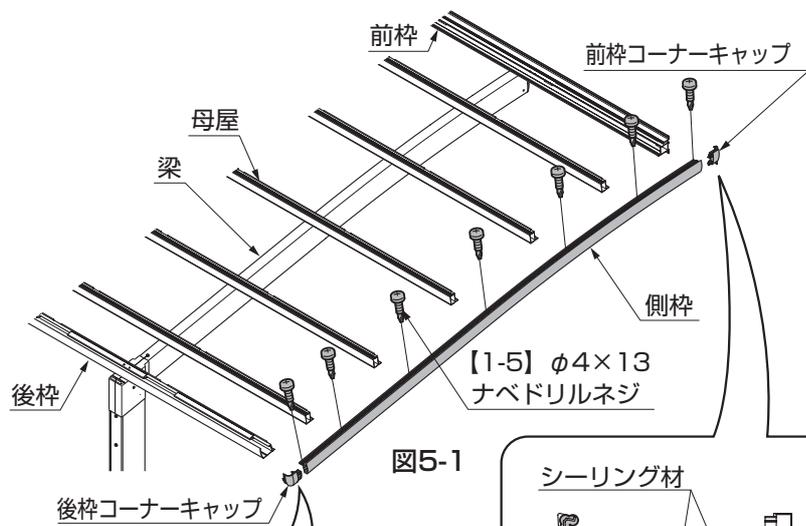
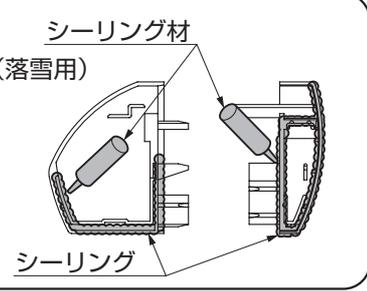
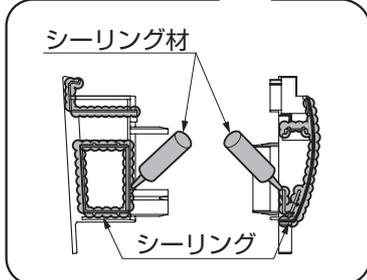
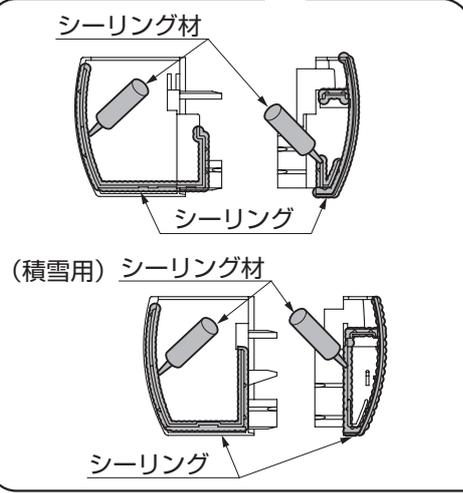



図5-1

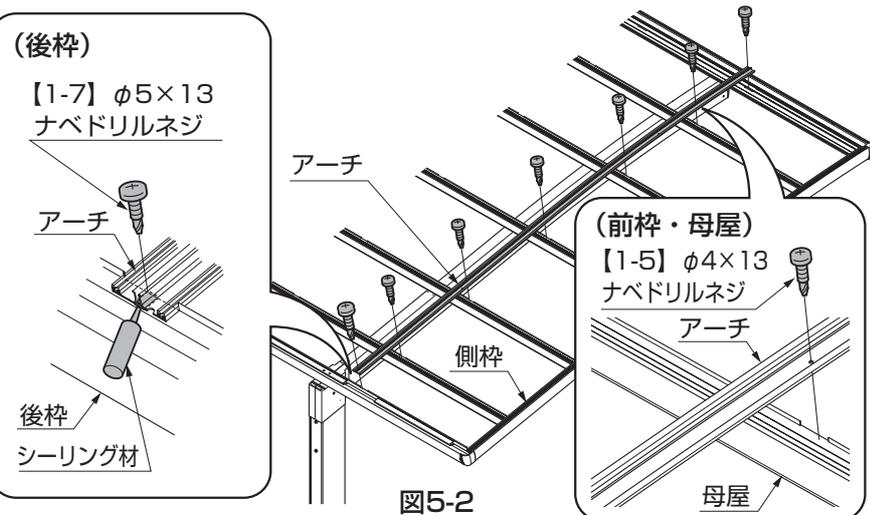
①前枠コーナーキャップおよび後枠コーナーキャップにシーリング材を充てんして、側枠に取付けてください。
(図5-1参照)

ポイント

●側枠には左右があります。切欠きが入っている方を後枠側にしてください。(図5-3参照)

②前枠・後枠・母屋に側枠の穴を合わせて、【1-5】で取付けてください。

③アーチの前後を確認して、前枠・母屋にアーチの穴を合わせて、【1-5】で取付けてください。(図5-2、図5-3参照)

注 意

●アーチを後枠へ取付ける際は【1-7】を使用してください。
耐風圧性能が低下し、製品の破損により思わぬケガをするおそれがあります。(図5-2参照)

ポイント

●アーチを後枠に取付ける前に、アーチと後枠のすき間にシーリング材を充てんしてください。
(図5-2参照)

④屋根枠まわりの対角・水平および柱の垂直を出してください。

補 足

●前枠・後枠、母屋には加工穴はあいていません。

図5-2

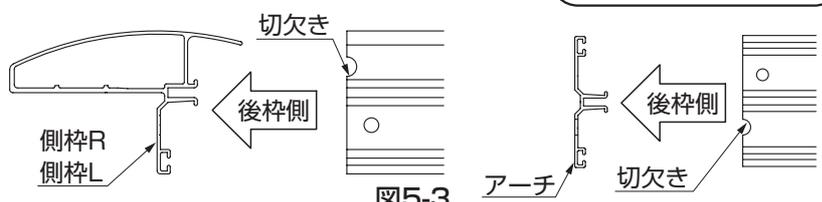
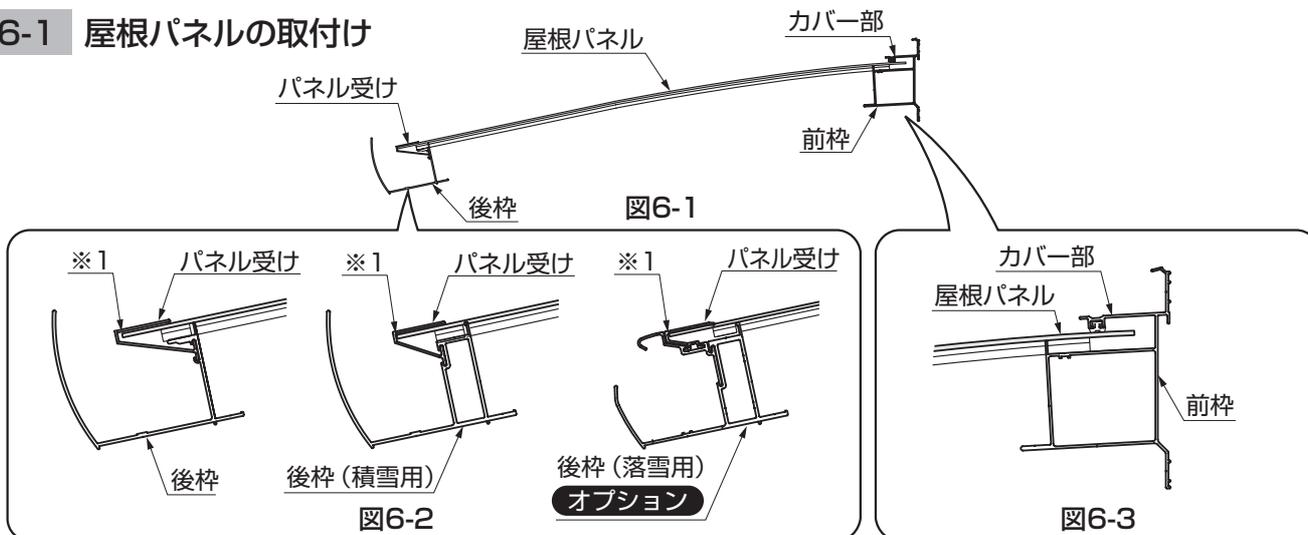



図5-3

6. 屋根パネルの取付け

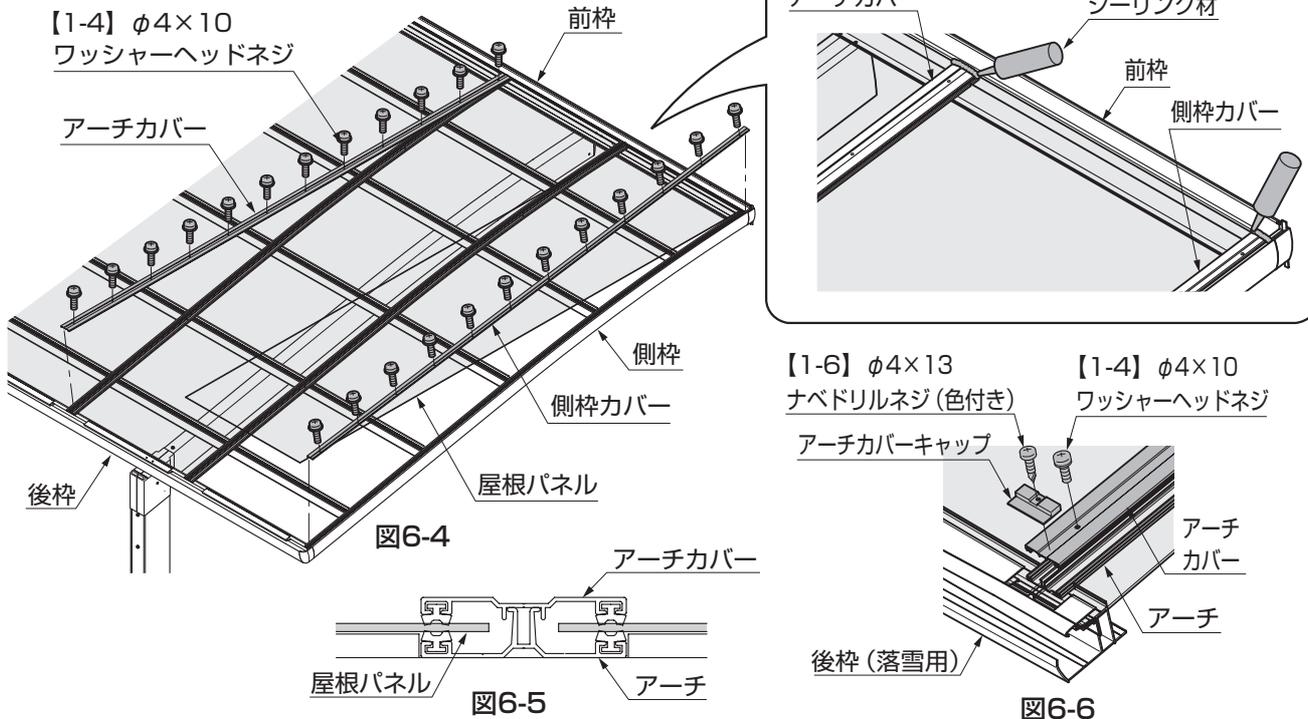
6-1 屋根パネルの取付け

図6-1
図6-2
図6-3

①屋根パネル前枠のカバー部に差込み、パネル受けに差込んでください。（図6-1、図6-2、図6-3参照）

ポイント

- ●後枠（パネル受け）ののみ込み寸法は左右均等にしてください。（※1）
- ●アーチ部ののみ込み寸法は、左右均等にしてください。
- ●屋根パネルは必ず裏表を確認し、保護シートをはがしてください。

6-2 側枠カバー・アーチカバーの取付け

図6-4
図6-5
図6-6

①アーチカバー・側枠カバーを梁頂点部から後枠側へアーチ・側枠に【1-4】で取付けてください。（図6-4参照）

ポイント

- ●アーチとアーチカバーがかみ合っていることを確認してください。（図6-5参照）
- ●後枠（落雪用）の場合は、アーチカバー端部にアーチカバーキャップを【1-6】で取付けてください。（図6-6参照）

②前枠とアーチカバーの間と前枠と側枠カバーの間にシーリング材を充てんしてください。（図6-4参照）

7. 屋根材ホルダーの取付け

7-1 屋根材ホルダーの取付け ※600タイプのみの設定です。

前枠
前枠側
アーチカバー
側枠
側枠カバー
後枠
後枠側

図7-1

【1-7】φ5×13
ナベドリルネジ
屋根材ホルダー
屋根材ホルダースペーサー

屋根材ホルダー
【1-7】φ5×13
ナベドリルネジ
屋根パネル
側枠カバー
側枠

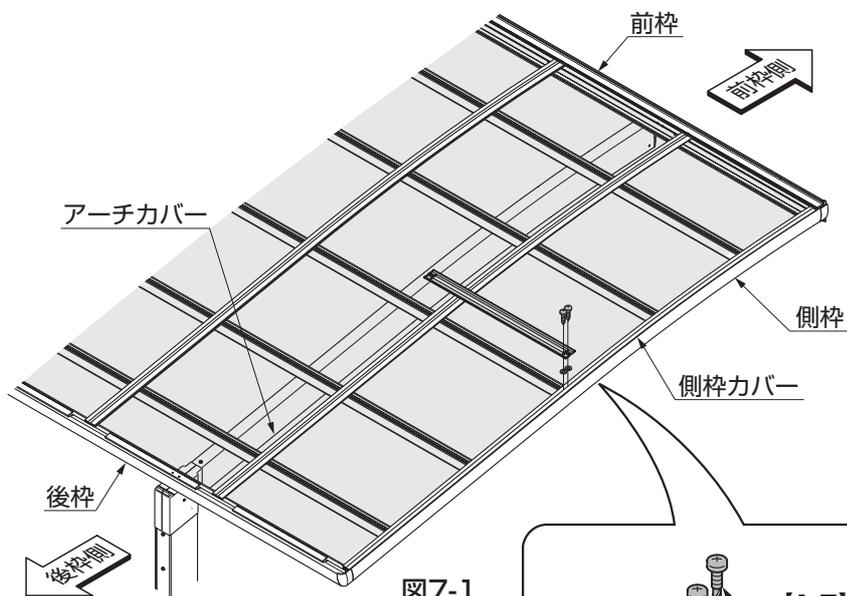
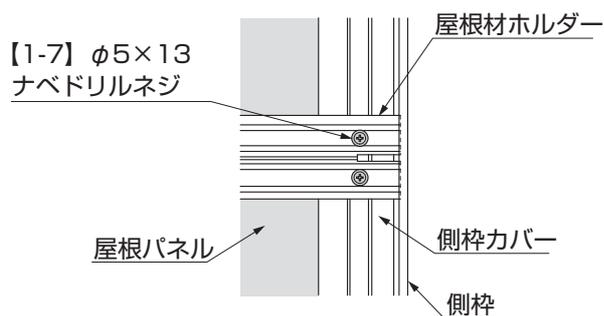



図7-2

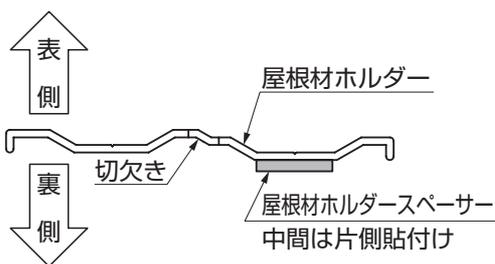
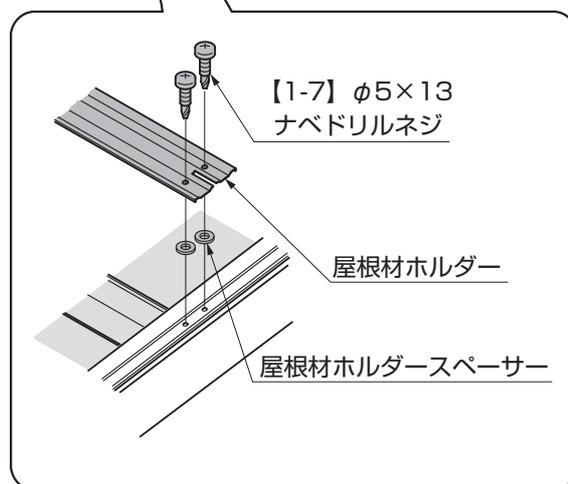



図7-3　屋根材ホルダー断面図

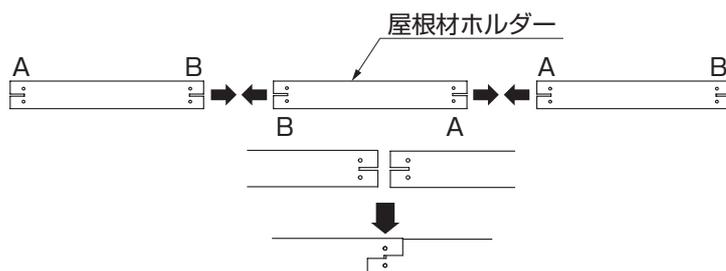



図7-4

①屋根材ホルダーを後枠側から数えて3本目の母屋の真上の位置に【1-7】で取付けてください。(図7-1参照)

ポイント

- ●側枠カバー側のネジだけを固定して、反対側は次の屋根パネルとアーチカバーを取付けた後で固定してください。(図7-2参照)
- ●2本目以後の取付けは、1本目の屋根材ホルダーと反対向きにして、切り込み部分をかみ合わせるように取付けてください。(図7-4参照)
- ●取付け前に屋根材ホルダー下面に屋根材ホルダースペーサーを貼付けてください。(端部：図7-1、中間：図7-3参照)
- ●間口30サイズには屋根材ホルダーがつきません。

8. 竪樋の取付け

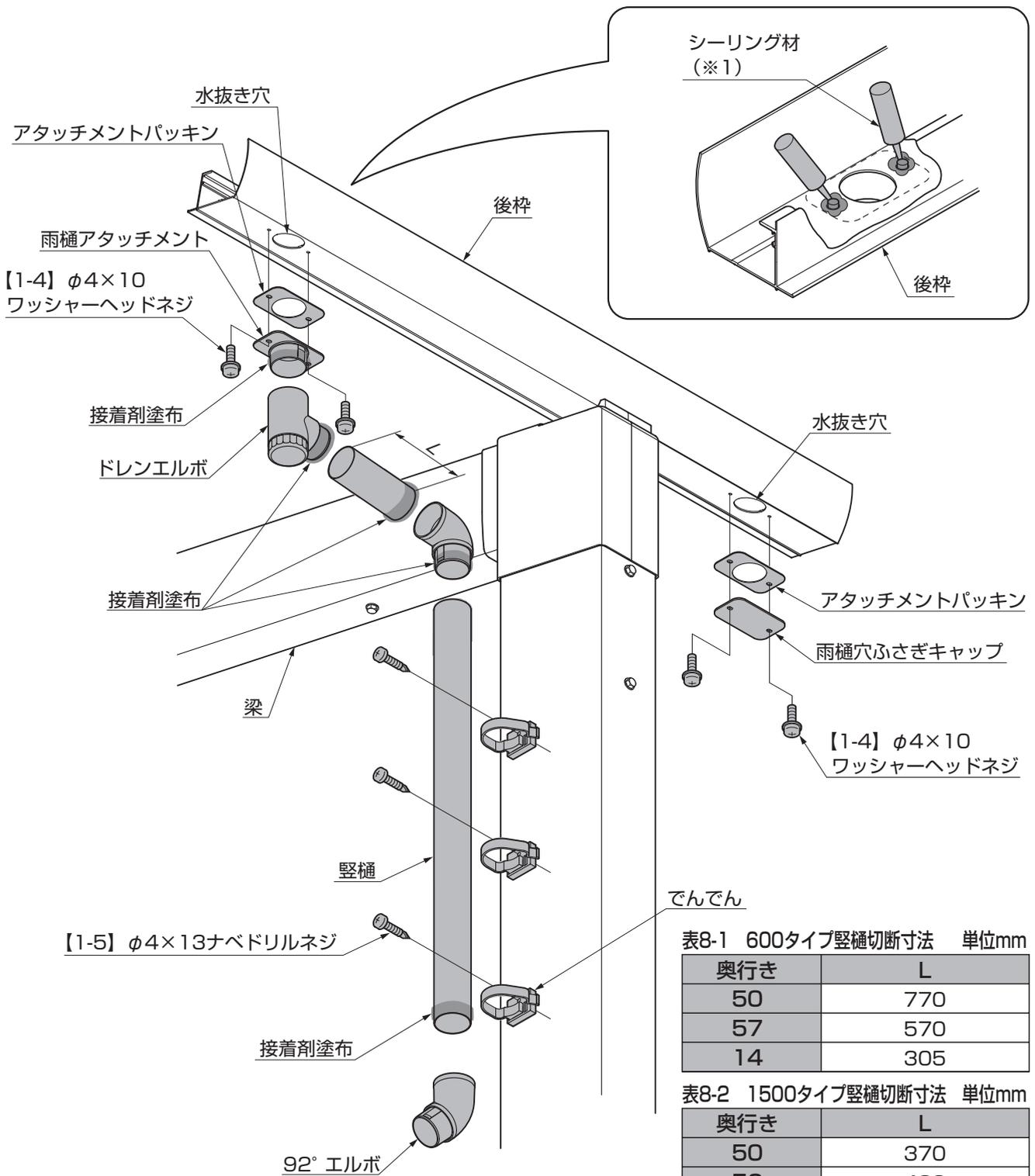



表8-1　600タイプ竪樋切断寸法　単位mm

奥行き	L
50	770
57	570
14	305

表8-2　1500タイプ竪樋切断寸法　単位mm

奥行き	L
50	370
56	480
12	220

図8-1

①竪樋を切断してください。（表8-1、表8-2参照）
②後枠両端の片方の水抜き穴にアタッチメントパッキン、雨樋アタッチメント、ドレンエルボ、竪樋、92° エルボ、でんでんを接着剤と【1-4】、【1-5】で取付けてください。
③もう一方の水抜き穴に、アタッチメントパッキン、雨樋穴ふさぎキャップを【1-4】で取付けてください。
④ネジ部にシーリングを充てんしてください。（※1）

4　縦連棟の施工方法

1. 基礎の施工

1-1　奥行き14延長タイプ（600タイプ）※〈　〉は奥行き57型を示します。

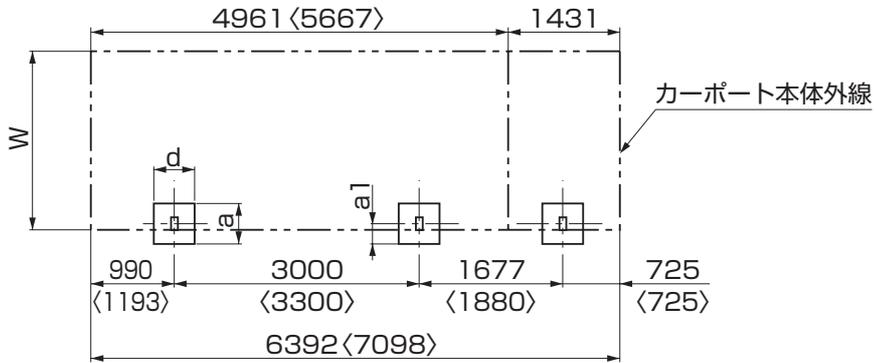



表1-1　　単位mm

間口	W（屋根寸法）	土間なし			土間コンクリート		
		a	a1	d	a	a1	d
30	3023	500	250	500	300	150	300
35	3499						
39	3899						

①柱の埋込み位置を出して、基礎穴を掘ってください。

補 足

●基礎構造については「2 基本寸法と各部名称　2.基本寸法」を参照してください。
●柱の移動は±100mm以内ですが柱芯々寸法が±100mm以内になるようにしてください。

1-2　奥行き12延長タイプ（1500タイプ）※〈　〉は奥行き56型を示します。

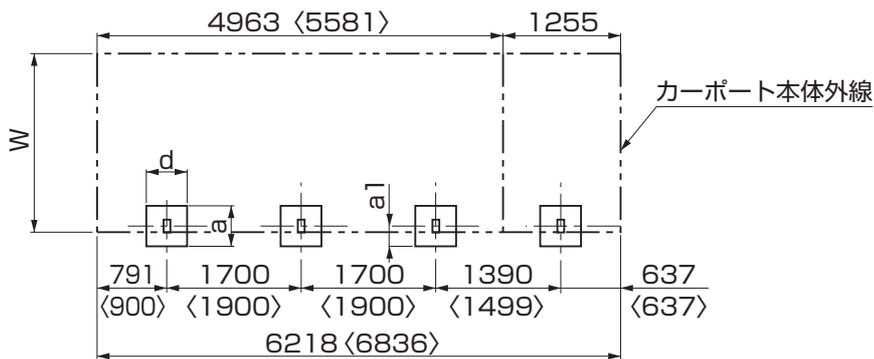



表1-2　　単位mm

間口	W（屋根寸法）	土間なし			土間コンクリート			凍上柱		
		a	a1	d	a	a1	d	a	a1	d
30	3023	500	250	500	400	200	300	400	200	300
35	3499									
39	3899									

①柱の埋込み位置を出して、基礎穴を掘ってください。

補 足

●基礎構造については「2 基本寸法と各部名称　2.基本寸法」を参照してください。
●柱の移動は±100mm以内ですが柱芯々寸法が±100mm以内になるようにしてください。

1.（つづき）

1-3 奥行き縦連棟タイプ

（1）600タイプ ※〈 〉は奥行き57型を示します。

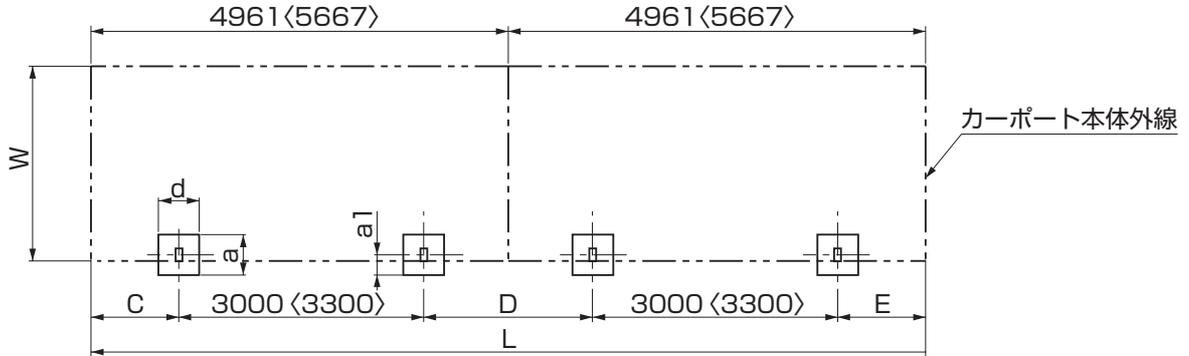



表1-3 単位mm

間口	W (屋根寸法)	土間なし			土間コンクリート		
		a	a1	d	a	a1	d
30	3023	500	250	500	300	150	300
35	3499						
39	3899						

表1-4 単位mm

奥行き	L	C	D	E
50−50	9922	990	1942	990
50−57	10628		2145	1193
57−57	11334	1193	2348	

①柱の埋込み位置を出して、基礎穴を掘ってください。

補 足

●基礎構造については「2 基本寸法と各部名称　2.基本寸法」を参照してください。
●柱の移動は±100mm以内ですが柱芯々寸法が±100mm以内になるようにしてください。

（2）1500タイプ ※〈 〉は奥行き56型を示します。

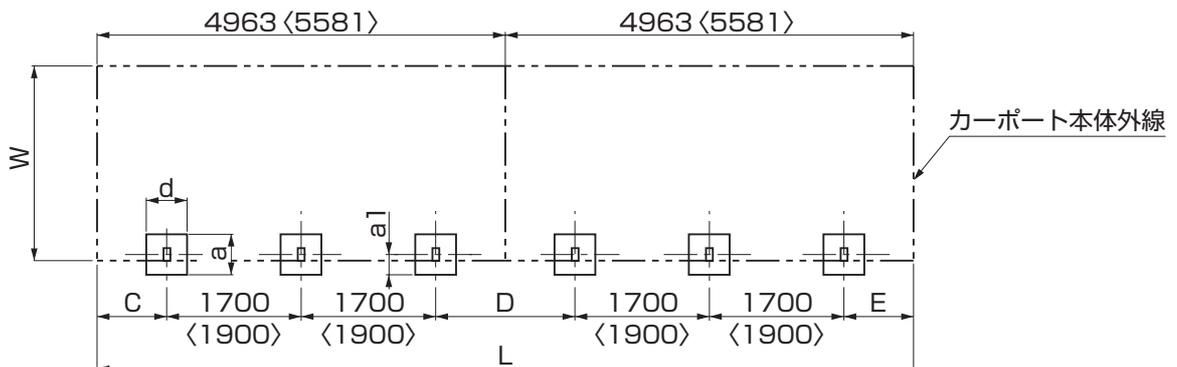



表1-5 単位mm

間口	W (屋根寸法)	土間なし			土間コンクリート			凍上柱		
		a	a1	d	a	a1	d	a	a1	d
30	3023	500	250	500	400	200	300	400	200	300
35	3499									
39	3899									

表1-6 単位mm

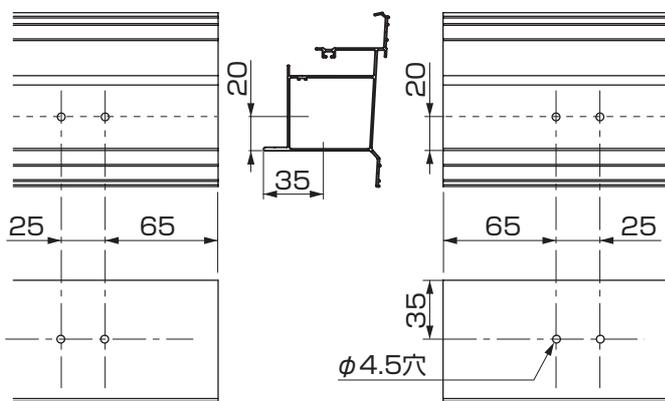
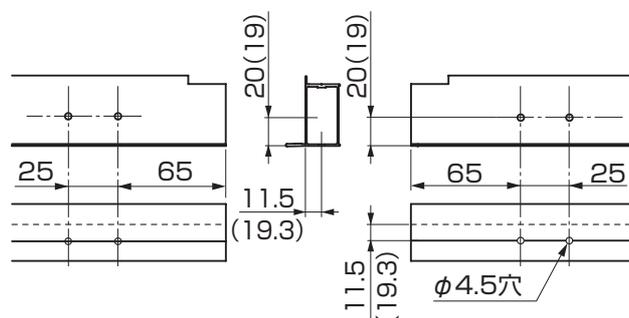
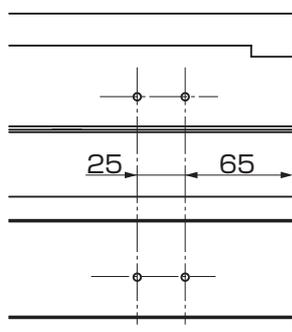
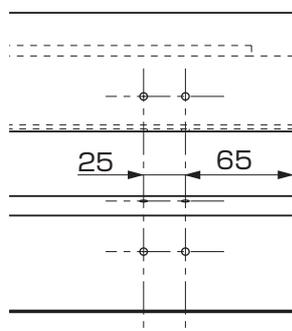
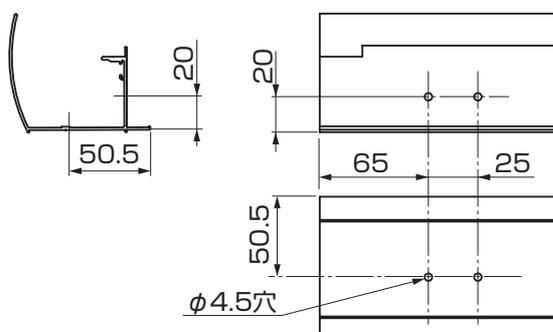
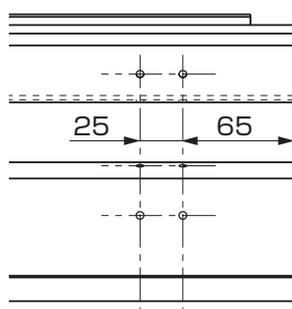
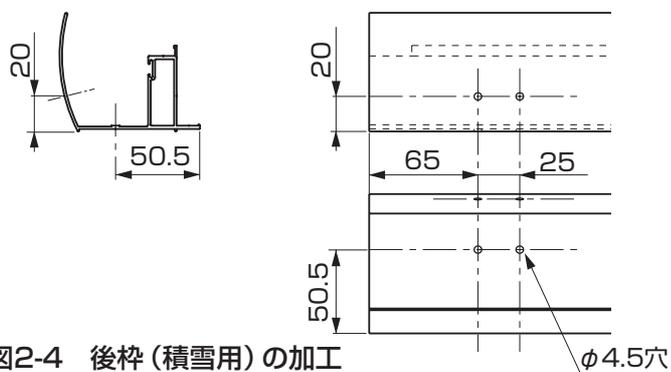
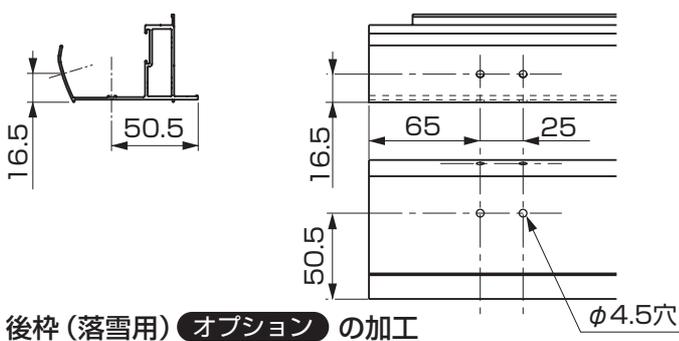
奥行き	L	C	D	E
50-50	9926	791	1544	791
50-56	10544		1653	900
56-56	11162	900	1762	

①柱の埋込み位置を出して、基礎穴を掘ってください。

補 足

●基礎構造については「2 基本寸法と各部名称　2.基本寸法」を参照してください。
●柱の移動は±100mm以内ですが柱芯々寸法が±100mm以内になるようにしてください。

2. 本体の連結

2-1 連棟部の加工 ※(　)寸法は1500タイプを示します。

①後枠・前枠・母屋の連棟側を穴加工してください。（図2-1、図2-2、図2-3、図2-4、図2-5参照）

ポイント

●母屋側面の穴加工はフィン側にしてください。

4 縦連棟の施工方法

2.（つづき）

2-2 連棟部の連結

図2-6

図2-7　後枠（積雪用）の場合

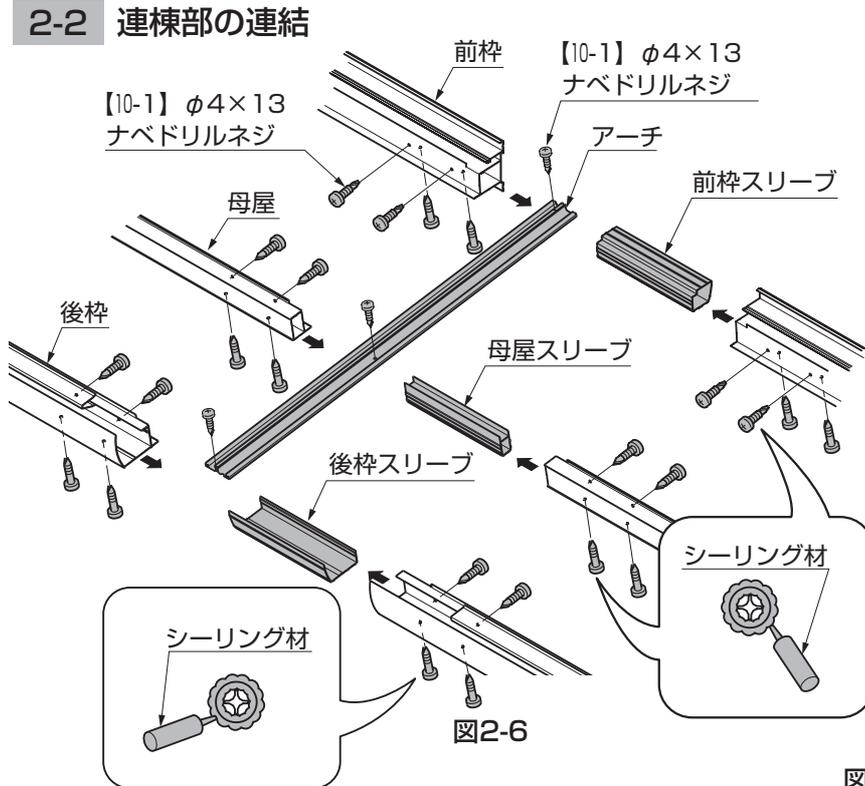
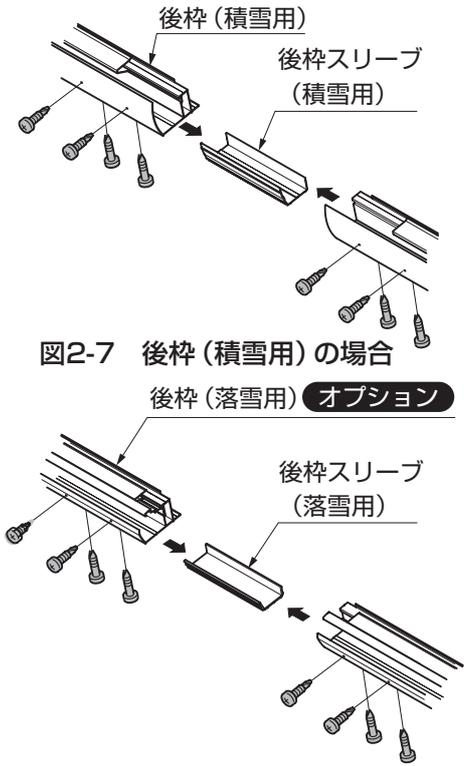
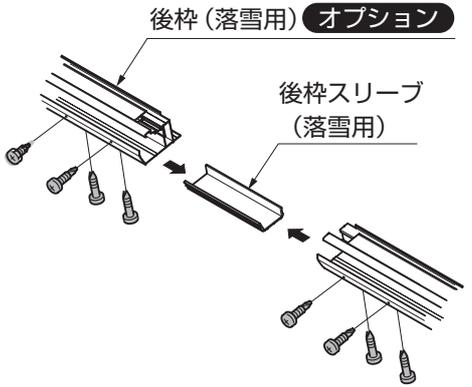



図2-8　後枠（落雪用）オプション の場合

①前枠・母屋・後枠にそれぞれ前枠スリーブ、母屋スリーブ、後枠スリーブを【10-1】で取付けて連結してください。（図2-5参照）

②全ての【10-1】の回りにシーリング材を充てんしてください。

ポイント

●連棟部分以外の組立ては、「3.基本の施工方法」を参照してください。

2-3 シーリング処理

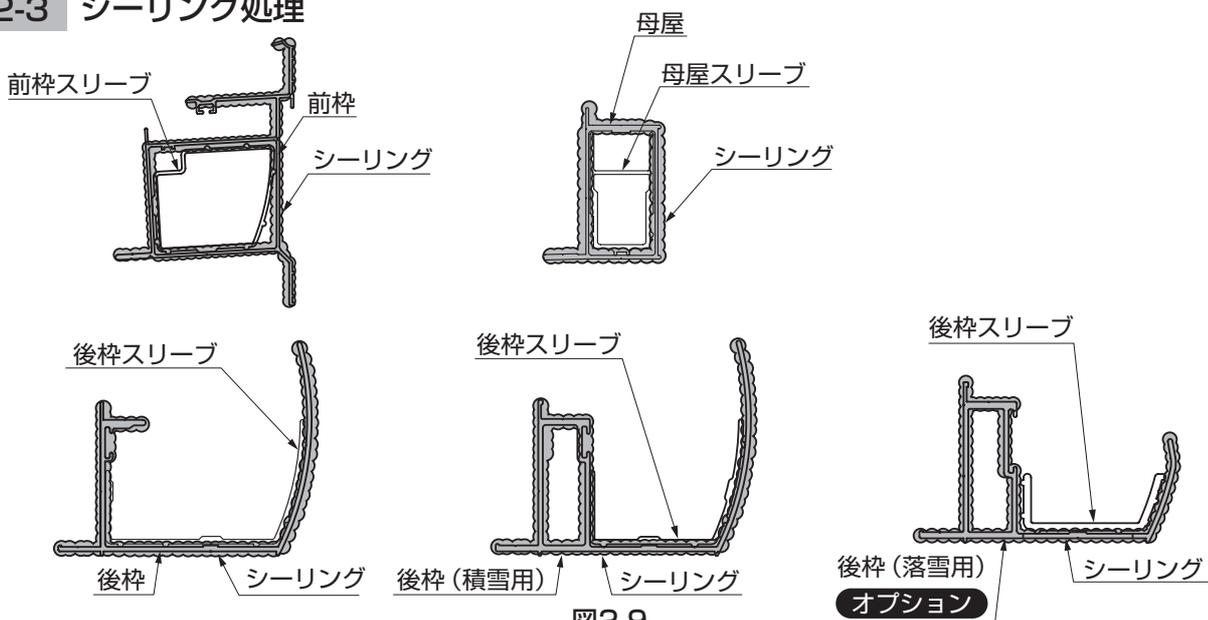



図2-9

①連棟部分にシーリング材を充てんしてください。（図2-9参照）

4 縦連棟の施工方法